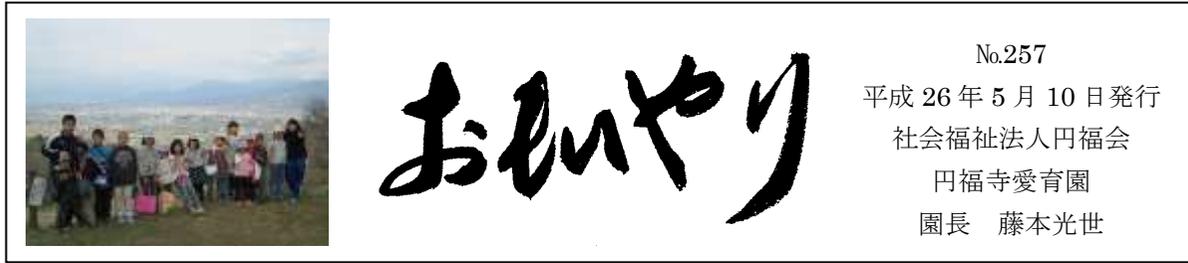


課外活動で恐竜公園へ行きました。桜が満開で善光寺平が一望できました。



平成 26 年度経営方針

園長 藤本光世

平成 25 年度は、児童の養育にとって職員が同じ方向を見て仕事をすることの重要性が認識された年でした。このことは、これまでも分かっていた、職員会の度に私から職員に「青谷副園長の方針でやりなさい」と重ねて指導していたことでした。しかし、残念なことにその言葉が届いていない職員がおり、それが子どもの指導を異なった方向に向け、あるいは対応が遅れ、指導が進まず、副園長の仕事を増やしたのです。職員の姿勢がいかに重要であるか、それを事実で知り、認識した一年でもありました。

ですので、経営方針の一番は、職員の姿勢にあります。副園長を向き、副園長の方針に従って、一丸となって児童を養育することです。このことにより、児童は大きく変化し、立派になるのです。心が変わっていくのです。

職員室のホワイトボードに副園長が貼った次の言葉があります。

心が変われば行動が変わる

行動が変われば習慣が変わる

習慣が変われば人格が変わる

人格が変われば運命が変わる

私たちは子どもたちの心を変えることに全力を注がなければなりません。子どもたちの心を立派にする環境こそ、子どもたちにとって最上の環境なのです。それが子どもたちの運命を変えるのです。長野県児童養護施設連盟の事業展開の重点課題の 1 は「児童の権利擁護の徹底」です。児童にとって一番大切な権利とはなんのでしょうか。それは「運命を変える」権利です。運命を乗り越えて、自分の力で人生を切り拓く力をつけてもらう権利です。その始まりは、心を変えることにあります。それができる環境こそ「子どもたちにとって最善の利益」であり「子どもたちにとって最善の環境」なのです。

形だけ整えても子どもたちの心は変わりません。「子どもたちにとって最善の環境」とは職員の姿勢なのです。職員が同じ方向を向いて、副園長を向いて、一致団結して子どもの心を変えることにまい進する姿勢こそ、子どもにとって最善の環境なのです。それによって、子どもの運命が変わり、

子どもが立派に自立し、社会さえも変えることができるのですから。

このことから、今年度の経営方針の最重点を職員の姿勢とします。

職員の姿勢

副園長の児童養育方針に従い、一致団結して子どもの心を変え、育てる。

職員の心の基本

「おもいやりの心」(大慈悲心)と道心

職員の勤務の心の基本三則

1. 「私心」を捨てる。「我」を捨てよ。
2. 正直であれ。ごまかすな。嘘をつくな。
3. 「脚下照顧」(はきものをそろえる)

すべては職員の姿勢に尽きるのですが、昨年度の反省から少し付け加えます。

1. 日課の重要性

どんな場でも、心をしっかりさせるには、日課を重視しています。僧堂然り、合宿然り等々。今年度全児童が、日課ができるようになりました。質を上げ、継続します。

2. 目標(夢)の重要性

目標(夢)を持つことにより、毎日の生活をしっかり生きようとする意志が生まれます。意志を持続することにより、行動が変わります。継続した行動が習慣となります。習慣は人格となります。このように後押しして、子どもが変わってくる事実を見ました。

円福寺愛育園の児童養育の目的

すべての園児に自立の力をつけて卒園させる

円福寺愛育園養育の基礎

生活環境の整美 整理整頓

円福寺愛育園の養育の基本三則

1. 日課を守らせ、日課の質を上げる。
2. すべての行事に全力で取り組ませ、最高のレベルを発揮する。
3. 「夢」を意識させ、生活に希望を持たせる。

円福寺愛育園は、家庭に勝る児童養育施設となります。それこそ「愛の花園」です。皆さま温かく見守ってください。

行事

行事にかける願い

副園長 青谷 幸治

今までの行事は、ただ「楽しかった。つまらなかった。」で判断してしまい子どもたちが喜ぶものがなく、また高校生は損得で動き大変なところは逃げていました。

施設は、家庭とは違います。家庭ではできない大胆でかつ計画性を持って作り上げます。いつも子どもたちが、びっくりするような仕掛けを考えます。時として行事の係になっていない職員（大人）でもびっくりするようなサプライズがあります。

子どもたちは、大人の存在の大きさに気づき、大人は何でもできると思います。

そして、中高生が職員とともに協力し合い行事を成功させることに力を尽くしてくれます。一緒に成功を喜び、達成感を味わい全てを共感することができます。互いの心が通じ合い職員が一番頼れる人になっていきます。

行事の準備を通して、児童も自ら考え行動します。仲間意識を持ち協力します。全員で準備から片づけを最後までやり通します。行事の取り組みを通して、そこにはたくさんの教育につながるものがあります。諦めない心、助け合う心、集中してやること、物を大事にすることなど。

この 2 年間で形ができてきました。高校生が「楽しいからやる。つまらないからやらない」という人は一人もいません。アルバイトを休みにしてでも参加してくれるようになりました。今年も更なる飛躍を目指して、子どもたちと感動と思い出に残る行事を作り上げていきたいと思います。先生方も心を奮い立たせて楽しんで取り組んでほしいものです。

球技大会の監督となって

野球監督 酒井悠紀

本年度もいよいよ球技大会の練習が始まります。今年も円福寺愛育園野球チームの監督に就任しました保育士の酒井です。

昨年度当園の野球チームは地区大会優勝、県大会準優勝を収め、子ども達はまだその喜びを忘れることなく、今を過ごしています。何より子ども達が野球に対して前向きに考えられているのが現状です。

しかしながら去年の気持ちを持ったまま練習に望むのは良いとはいえません。なぜなら油断や甘えが出てきてしまうからです。去年の子ども達は確かに頑張っていました。厳しい指導にも耐え、チーム力を高めて来ました。だからこそ、今年もう一度チームを作り直し、県大会優勝という目標の実現をしたいと思います。

野球を通し、生活にメリハリをつけ、強い気持ち、負けん気、男気を身につけられるよう、今シーズン過ごしたいと思います。よろしくお願いします。

～まずは走り込みから、スタートします！！～



中高女子卓球の監督となって

保育士 土屋海都

今年中高女子卓球の監督になりました。昨年小学生卓球の監督として初めての経験を沢山してもらいました。卓球の経験もあまりない中で練習メニューを決めたりチームをまとめたりと卓球の楽しさを感じると共に大変さを感じることも多々ありました。そんな中今年中高女子卓球の監督としてとても緊張し不安に感じています。自分に出来るのか、やっていけるかという思いがあります。不安な気持ちもありますがマネージャーとして一緒に子ども達をサポートしてくれる先生方がいます。連携し合って子ども達を支えていきたいと思います。子ども達は今やる気になっています。昨年地区予選 2 位、県大会 3 位という結果を出し今年昨年以上の結果をだしたい、チームで勝ちたいという気持ちが強くあります。監督として子どもたちを支えまたキャプテン、副キャプテンと一緒にチームをまとめ子どもたちと一緒に頑張っていきたいと思います。練習中でも辛くても頑張ろう、楽しいと思えるような雰囲気作りをしていきお互い励ましあい、高めあえるようなチームにしていきたいと思います。チーム協力でしあい良い結果がだせるよう意識し取り組んでいきたいです。

小学校卓球チームの目標として

小学校卓球チーム監督 山口 亮

今年も、球技大会の季節となりました。先日行われた球技大会の発足式ではチームのみんなと今年どんな目標で頑張っていこうかとミーティングを行いました。その中で出た目標で今年こんな事を頑張っていきたいとみんなで確認をしました。

目標：県大会に行くために 1 つでも多く試合に勝てるようにする。

その為には・・・

- ①礼儀良く、挨拶は元気です。
- ②道具を大切に扱い、整理整頓に心がける。
- ③仲間がミスした時は全員で励ます。応援をする。

練習や試合でもそうですが、相手に対してのマナーや道具を大切に扱う事に関してもスポーツをする人にとっては当たり前のことです。今年小学校 1 年生も多く入り卓球を知らない子もたくさん入りました。まずは、道具の整理整頓や人の話は目を見て聞くなどスポーツをする上で重要なところから教えていきたいと考えています。普段の練習から大きな声を出すことができなければ、試合でも大きな声を出すことはできません。そういった基本ができてこそ試合に初めて勝てるものと思っていますので、卓球チームの児童とスタッフ一同で卓球やスポーツの面白さ、練習をして上達する楽しさを教えていけたらと思っています。よろしくお願いします。

新一年生の抱負

5 人の小学校 1 年生、2 人の中学校 1 年生、2 人の高校 1 年生が誕生しました。それぞれの抱負

を聞いてみます。

通明小学校 入学式を迎えて

平成 26 年 4 月 4 日 吉川 唯斗君が通明小学校に入学しました。新しいランドセルを背負い、学校に向かうその顔には不安の表情はなく、笑顔で学校に向かっていましたが、実際に通明小学校の門をくぐり、教室に入ると新しい友達も多く、さすがに緊張しているようでした。

入学式が始まり、吹奏楽の音楽に合わせて入場する唯斗君は、緊張が私に伝わるくらいのガチガチの笑顔でした。無事に式を終え、クラスの時間になると担任の先生の話をよく聞き、返事の声も大きくできていました。さっそく何人か友達をつくれたようで、下校時も友達に元気よくさよならの挨拶ができていました。これからの学校生活に向けてしっかりと第一歩を踏み出すことができていました。

小学校に入学して

<Aさん>

今まで園内保育のお友達とたくさん遊んで生活してきたAさんですが、小学校へ行くと数え切れなほのお友達を見て少し不安げな、でもワクワクしたような様子がありました。いよいよ自分で歩いての登校となり、初めのうちは「疲れたー」といって玄関先で大の字になっていましたが、徐々に慣れてくると「ただいまー！」と元気良く帰ってきて、学校での出来事をたくさんお話ししてくれます。次の日の準備もてきぱきと行い、この1カ月でもずいぶん成長したなと感じられます。楽しい学校生活を送ってほしいです。

<Bさん>

小学校に入学式当日、たくさんのお友達やお家の方を見て、少し戸惑った様子だったBさん。教室に入ってから「先生、近くにいてね」と不安げな表情でした。しかし、先生のお話をきちんと聞いていて、園に帰ってからやることや持ち物を教えてくれ、とてもしっかりしているなど感じる部分が見られ、頑張っている様子が伝わってきます。なかなか自分から友達に話しかけることが難しいようですが、お友達の作り方、コミュニケーションの取り方を教えていながら暖かく見守っていきたいと思います。



入学式に際して 新一年生

4月4日、通明小学校の入学式が行われました。白いタイツに正装姿、まさにピカピカの一年生です。入学式前、緊張した面持ちで、今か今かと待ちわびています。新一年生になったCくんは、まだまだ幼さが前面に出ておりますが、これからは小学生の一員として大活躍してくれることでしょう！！

頑張りたい事は、勉強と遊びとのことです。当園の課外活動でもたくさん遊ぼうね☆

篠ノ井東中学校に入学して…

蜜澤 琉夏

今年度から篠ノ井東中学校に入学した蜜澤琉夏です。僕が篠ノ井東中学校で頑張りたい事は部活動です。僕は、野球部に入部します。なぜ野球部かと言うと4年生の夏頃から地区の少年野球団に入団し、練習や試合を重ねていくうちに野球が上手になってきました。昨年の施設球技大会ではキャッチャーをやらせていただき、地区大会優勝、県大会準優勝という結果を残すことができました。それをきっかけに中学年生までピッチャーのR君とバッテリーになる事となりました。昨年よりも上手になりたいので僕は野球部に入部する事を決めました。中学校の部活でもキャッチャーを希望します。3年間精一杯頑張りますので応援よろしくをお願いします。



中学校に入学して

O. R

僕は4月に篠ノ井東中学校に入学しました。

僕には目標が2つあります。1つ目は体力テストでAランクを取る事です。その為に各競技の練習を頑張っていきたいと思えます。2つ目は野球部でエースピッチャーになる事です。そのために心を鍛えていきたいです。練習も頑張りますが、野球だけでなく、日ごろの生活でも規則正しく生活していくことを心がけていきたいです。心が鍛えられれば相手の心を考えられて、チームワークが良くなると思えます。

僕は小学生の頃から短気なので、中学生生活の3年間で短気な性格を直して仲間をたくさん作りたいたいです。

高校に入学して

久保 未久

高校に入学して一か月が過ぎようとしています。入学式当日は静かだった教室もだんだんと仲間ができ、教室もにぎやかになってきました。また授業も本格的に始まり先生との関係も少しずつ出

来てきました。私にとって高校入学は実は 1 回目ではありません。それは以前の学校で人間関係がうまくいかなかった事や、私自身が取った行動のせいです。私が夢を持っていると知っていた石崎先生は再度やり直す手助けをしてくれました。「もう一度やり直したい。このまま止まっているわけにはいかない。」という私の想いをたくさんの人が理解してくれ、やり直すチャンスをもらい、もう一度高校へ行くことが出来ました。今私は決まった日課の中で生活をしています。でも苦ではありません。夢の為、将来の自分の為、日々気持ちや行動を見て生活しているからです。時には叱られる事もあります。でも私の為に言ってくれているんだと思えるようになってきました。そんな私の事を心配してくれる人たちがいることに感謝しながら、これからも学校生活を頑張っていきたいと思います。

高校に入学して

石山 智朗

4 月から長野工業高校に入学した石山智朗です。僕は小学三年生から野球を始めて今まで続けてきていて、高校でも野球班に入班しました。

今年の 3 月から円福寺愛育園で生活を始めましたが、野球に打ち込める環境を整えてもらい、とても感謝しています。

高校の練習は厳しいですが、心身を鍛え上げ「甲子園出場」を目指し、悔いのない 3 年間で過ごしていきたいです。応援よろしくをお願いします。

ホームだより

あおぞらホームだより 5 月

保育士 石黒玄章

穏やかな春の日差しが降り注ぎ、大雪が嘘のような満開の桜も青葉に彩りを変えてきました。新年度になり、あおぞらホームは小学生 2 人、中学生 2 人、高校生が 1 人進学し、新しい学校生活を歩みだしました。小学生の 2 人は小さな体で大きなランドセルを一生懸命背負いながら通学しています。最初の頃は帰園すると座りながら眠ってしまった子も、子供の成長は早いもので、日に日に通学の足取りが軽くなり、学校生活も徐々に慣れてきた様子です。

中学生、高校生の子供は部活を始めます。3 人とも野球部に入部します。新しい学生服も板について来ました。初心を忘れずに活躍を願います。



ホームの中ではホーム食を行い、球技大会の練習も始まりました。ホームの子供と職員が一致団結して、学校や園での生活が更に充実するようあおぞらホームは邁進していきます。

(写真はあおぞらホーム児童による公用車の洗車(隔週土曜日)です。)

まごころホーム

保育士 上原美恵子

花々が咲き乱れ、草木の芽吹きも目に鮮やかな風薫る 5 月、子供たちはそれぞれ新しい生活を順調にスタートさせました。幼児さんたちは学年が一つ上がり益々活発に活動しています。特に年長さんは自分の思いをストレートに話せるようになってきていてその成長ぶりには目を見張るものがあります。小学生では 3 人が新一年生として入学し、当初はいろいろな心配もありましたが、皆、緊張感を持って元気に登校しています。先日の参観日では、どの子も落ち着いて授業を受けており、そんな様子を見て少しほっとすることが出来ました。

先月 27 日の日曜日には昼食にホーム食を行いました。皆で協力して美味しい食事作りが出来ました。特に高校生は日々のお弁当づくりの経験が生かされていて、手際良く調理や、配ぜん、片付けとてきぱきやってくれていました。又その日の午後には球技大会の発足式があり、中高女子、小学生女子とそれぞれチーム作りを行い各自抱負を述べたりと目標に向けて気持ちを新たにしました。これから大会に向けて練習等で忙しくなりますが、日々励ましながら見守って行きたいと思います。

調理室だより

嘱託調理員 小林 莉奈

四月になりまた新しい一年が始まりました。愛育園の食堂の中では子どもたちや先生たちの名前を誕生日の月ごとに書いた画用紙を毎年飾っています。その画用紙も食に関係あるテーマを毎年調理の先生や、給食委員の先生たちで決め 12 の月ごとそれぞれ違った形を作ります。去年で言うと去年は屋台のシリーズだったので四月はたこやき、五月はわたあめ、六月は焼きとうもろこし・・・などでした。今年はパンのシリーズをやることになりました。種類は、サンドウィッチ、焼きそばパン、メロンパン、クロワッサン、ピザパン、ホットドック、ドーナツ、チョココロネ、ハンバーガー、クリームパン、カレーパン、食パンの十二種類です。

もう少しで飾ることが出来るので、食堂がどんな風に彩られるのかとても楽しみです。





進級して一か月が経ちました

早いもので、園内保育の子どもたちが進級して一か月が経ちました。どの子も新年度になつて進級した時の気持ちを忘れないまま、張りきっています。

- 今年度の年長さんは、女の子が3人。おほじまりになると、おもむきの片付けをしてトイレや手洗いうがいを済ませると、ほかの子が戻ってくるのを待っていてくれます。さすが、お姉さん！
- 年中さんは、男の子が2人。ちびりお兄さんになって、遊びや活動をアクティブに楽しめるようになっていました。頼もしいですね。
- 年少さんは、男の子が1人、女の子が1人の、2人です。“未満さん”となくなら、たにこに誇りをもっているようです。たにこ1人の年下、未満さんにお兄さん、お姉さんとして接する姿がほほえましいです。
- その未満さんは、男の子が1人です。園内保育一番小さいですが、お兄さん、お姉さんに負けないと元気いっぱいです。

4月はお散歩に行ったり公園で遊ぶなど、外遊びをたくさん楽しみました。お散歩には、大きい子と小さい子がペアになって手をたいて歩きます。年長さんや年中さんは、未満さんや年少さんを守るように保育者と自分との間にしごんで歩く姿が見られます。



お散歩では、様々な“春”を見つけたり、公園では身体をいっぱい動かして楽しく遊んでいます。今年度もいろいろな発見をしたり、たくさん遊んで楽しい園内保育にしたいと思っています。



。 じゃがいもを植えたよ!! *。*

今年も食育プログラムの一環として、自分たちで野菜を栽培、収穫しようと、先月、じゃがいもを植えました。昨年の経験もあり、「じゃがいもは畑ごと取る!!」ということを知っている子もいました。畑仕事がお得意な青木先生にご指導いただき、子どもたちは「どうやって植えるのかな?」と興味深く、話を聞いていました。「芽が出ている方を上にして置く」、「この位の深さに掘る」などポイントを教えてもらうと、どの子も張り切って植え始めました。慎重に「木どいい?」と確認する子、コツをつかんだのか農家の方のようにどんどん植えていく子、様々ですが、一人ひとりが自分の手で植えることができました。最後に「おいしいじゃがいもができますように」とみんなが願いをし、その為に草刈りや水やりなど、お世話を頑張る約束もしました。

自分たちが愛情込めて育てることで、食べ物への関心が高まり、毎日美味しい食事をいただけることに感謝する気持ちも育ってくれたらいいなと願っています。

おいしいじゃがいもができますように... 楽しみだね♡



春の遠足

5月2日、茶臼山動物園へ遠足に行きました。



“今日は動物園に行くからさ”とこちかお姉さん、子ども達はワクワクドキドキ期待で、お出かけした。入るとすぐにいるライオンを見て「すごい」と言う子やこちらを眺める子、いろんな子としゃべって見ることができました。子ども動物園という所ではモルモットを抱っこしたり、セサヤ羊にエサをあてることなども、こちかお姉さん、お兄さん、お姉さんらに教えてもらって、子ども達はとても良い表情をしていました。動物園で一回ずるとお腹が減り、楽しみにしていたお弁当の時間!! お弁当の中には“00屋”が入っていると驚き!! お腹いっぱいには、今度は再び動物園を見にいかせて... Rei かしの水たまり、Sen や Nara が手拭い、お兄さん、お姉さんらしい姿を見ることができ、学年が上がったこと成長しているかは、感じました。動物と触れあうことが、子ども達にとってもとても良い経験にしたいなと、こちかお姉さん、お兄さん、お姉さんらに話してあげたいです。





愛育園の職員になって

愛育園の職員になって

あおぞらホーム 保育士 竹内 貴裕

今年度から円福寺愛育園の保育士として勤務させていただいております竹内 貴裕と申します。

3 月末の研修から勤務が始まり 1 ヶ月が経ちました。この 1 か月間は日課をこなすのが精いっぱい慌ただしい 1 か月間だったと思います。右も左もわからず、先生方だけでなく子どもたちにまでご迷惑をおかけしました。子どもの対応にも困ることも多く、考えさせられることばかりで改めて教育の難しさを感じました。先生方に教えていただいたことを覚え、一步一步をしっかりと踏み固めていき、1 日でも早く先生方についていけるようになりたいです。これから球技大会やキャンプといった行事が本格的に始まり、さらに忙しくなってきますが、その忙しさの中でも子どもとの関わりを忘れないように精一杯頑張っていきたいです。先生方と協力し、最高の 1 年間にしたいと思います。まだまだ私が未熟なため先生方にご迷惑をさらにおかけします



が、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。

愛育園の職員になって

昨年度 3 月で文化学園長野専門学校を卒業し、今年度 4 月からまごころホームでお世話になります、竹田悠希と申します。宜しくお願ひ致します。

私は、去年の 8 月の施設実習で円福寺愛育園とご縁があり、子どもたちの活発な姿や丁寧かつ熱い指導をされている職員の先生方の姿を見て「こちらでぜひ就職したい!」と強く思いました。2 週間というたった短い期間でしたが、様々な経験をさせていただき、今こちらで働かせていただくことになり、とても誇りに感じています。4 月から愛育園の正規職員となり、園の方針に従いながら子どもたちとの関わりに日々悪戦苦闘しています。最近では、幼児さんに対して口うるさく言ってばかりで褒めて伸ばすということが非常に力不足であるなと思ひました。どうしても良くないことに目がいきがちになってしまひて、子ども一人一人の良さや上達していることに花のように、水やりをたっぷりすることで関わりを増やしていかなくては行けないなと思ひました。なので、愛育園の職員になり自分自身にもメリハリをつけ、常に笑顔で子どもたちと素直な心で向き合ひていきたいと思ひます。また職員の先生方に細かいところまで具体的に報告をして、誇りある愛育園で子どもたちと一緒に、喜怒哀楽をして生活をしていきたいと思ひます。これからもたく

まごころホーム保育士 竹田悠希



愛育園の職員になって

栄養士兼調理員 遠山みなみ

愛育園の職員になって早いもので一ヶ月が経ちました。入って間もない頃は、本当にここでやっていけるのか不安でいっぱいでした。知らない土地に来て相談できる人も周りにあまり居なくて、何故ここに来てしまったのかと思ひたこともありました。でも周りの先生方が話を聴いてくれたり「ごちそうさまでした。」といつも大きな声で言ってくれる子ども達の顔を見ていたら頑張っ来てました。

調理の仕事はもちろん、小学生卓球の副監督になったので県大会を目標として日々の練習・指導していき、また卓球を通してあいさつや礼儀・マナーの大切さを分かってもらいたいと思ひます。なにより「卓球って楽しい。」「もっともっと上手になりたい。」と思ってもらえたら一番理想的だと思ひているのでそこに向かって監督やマネージャーの先生と頑張りたいと思ひます。これから一年、辛いこと、大変なこと、たくさんあると思ひますがいつも前を向ひていけたらと思ひます。

